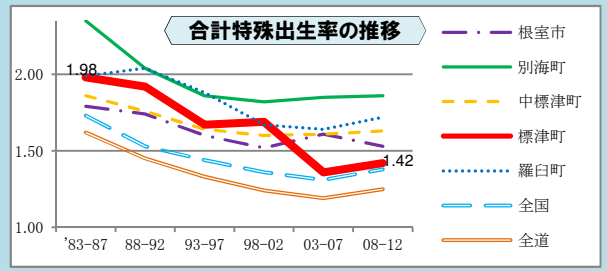


赤枠の事業は、政策パッケージ2017の構成事業として、新規または統合等を行った事業

結婚・子宝・子育ての政策

【若い世代の結婚や出産等の理想・希望を叶える】

- ①結婚活動の応援強化
 - ・専門職員の配置、関係団体との連携強化による出会いの場の提供ほか
- ②安心出産の支援
 - ・妊婦情報の共有による緊急時の緊急体制確保
 - ・リスクの高い妊婦の事前宿泊・交通費の助成
- ③出産祝い金の給付
 - ・第1子5万円、第2子10万円、第3子以降50万円を給付
- ④乳幼児紙おむつ購入助成
 - ・町内出生児を対象に、2歳を迎えるまでの紙おむつ購入費12万円（月5,000円×24ヶ月）を給付
- ⑤幼保連携型認定こども園の開設
 - ・標津・川北地区に保育園や幼稚園などの機能を集約したこども園を開設し、より充実した子育て支援を推進
- ⑥こども園の無料化または負担軽減
 - ・3歳以上の使用料や給食費等は、無料
 - ・3歳未満の使用料は、国基準の1/4に減額
- ⑦小、中学生の学習教材費の助成
 - ・資料や実験材料等に係る保護者負担分を助成
 - ・小学生5,800円/年、中学生11,200円/年
- ⑧高校生までの医療費無料化
 - ・中学生までの医療費無料化（平26開始）
 - ・平27から対象を高校生までに拡大
- ⑨標津高校での学びの支援
 - ・教科書・制服代相当5万円支給、町内外バス通学費全額助成、国公立大学入学相当30万円支給、医療費無料の町外通学者対象、修学旅行費の支援ほか



定住・移住・暮らしの政策

【このまちで暮らしたい、暮らし続けたい希望を叶える】

- ⑩住宅取得助成
 - ・住宅新築 最高300万円を助成
 - ・中古取得 最高100万円を助成
- ⑪住宅リフォーム助成
 - ・最高50万円を助成
 - ・町内業者の施工に限定
- ⑫住まい・暮らしの資源の利活用
 - ・空き家や遊休施設等の資源を利活用
 - ・望ヶ丘ハイムの平29入居開始
- ⑬あんしんサポートセンターによる地域での支え合い
 - ・高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、サポーター（町民ボランティア）が支援
- ⑭高齢者福祉施設利用者の負担軽減
 - ・高齢者施設の家賃等の一部を助成
- ⑮介護予防事業の推進
 - ・高齢者が健康で生きがいをもって暮らす地域づくりを図るため、「いきいき百歳体操」を実践
- ⑯高齢者等の除雪支援充実
 - ・地域コミュニティを核とした支援の向上
- ⑰若者健診・保健指導の推進
 - ・16～39歳を対象に生活習慣病予防を目的とした健診を実施。自己負担1,500円（8割程度軽減）
- ⑱医療技術者等の確保
 - ・町で勤務する医療技術者等を養成・確保するため、修学資金及び就業支援金の貸付制度を創設
- ⑲避難道路・防雪柵の整備
 - ・避難経路の整備
 - ・川北西3号道路防雪柵
- ⑳新・地域防災計画の実践
 - ・新たな計画に基づいた防災・減災対策を実践
- ㉑ふるさとの未来を担うリーダーづくり
 - ・しべつ未来塾でのリーダー育成及び若者と町内外関係団体との連携・ネットワークづくり



社人研：国立社会保障・人口問題研究所推計（2013.3）
 創成会議：日本創成会議推計（2014.5）
 人口ビジョン：標津町人口ビジョン目標（2015.10）

産業・経済の政策

【生産基盤を高め、地域資源を活かし、人の流れを変える】

- ㉒新しい農業経営者づくり
 - ・就農予定者研修支援
 - ・就農体験者受入れ強化
- ㉓農業協業法人の支援
 - ・TMRセンターの設置を支援
 - ・複数戸による農業法人の設立を支援
- ㉔水産資源対策の強化
 - ・沿岸餌料等環境調査の実施
 - ・ホタテ生産力向上対策事業の推進
 - ・ナマコ種苗放流事業の推進
- ㉕標津ブランドづくり
 - ・ブランドづくり事業の推進
 - ・製品開発、販売促進の強化
- ㉖標津川の環境保全等
 - ・標津川の環境保全対策の強化
 - ・標津川の水深確保の要請
- ㉗起業支援補助拡充
 - ・補助金上限 250→300万円
- ㉘再生可能エネルギーの活用等
 - ・エネルギーの有効活用
 - ・誘致財源の有効活用
- ㉙交流人口の拡大による地域の活性化
 - ・みどころ30選の魅力発信
 - ・体験交流の実践による地域経済の活性化
- ㉚情報発信の強化等
 - ・まちの情報発信力を強化
 - ・地域おこし協力隊による地域活力の創出

